

中小水力発電ファンドへの出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、みらいエネルギー・パートナーズ株式会社（所在地：東京都港区 代表取締役：田中克佳）がファンド運営者である中小水力発電ファンド「みらい hidro パワー投資事業有限責任組合」に 6 億円の LP 出資を決定致しましたのでお知らせします。

みらいエネルギー・パートナーズ(株)（主な株主：三菱商事株式会社、フィンテックグローバル株式会社）は、水力発電に特化してコンサルティング等を行い、水力発電設備の改修、新規開発を推進しています。

本ファンドは、全国の民間事業者や地方自治体所有の老朽化水力発電設備の改修事業と、新設中小水力発電事業を投資対象とするものです。

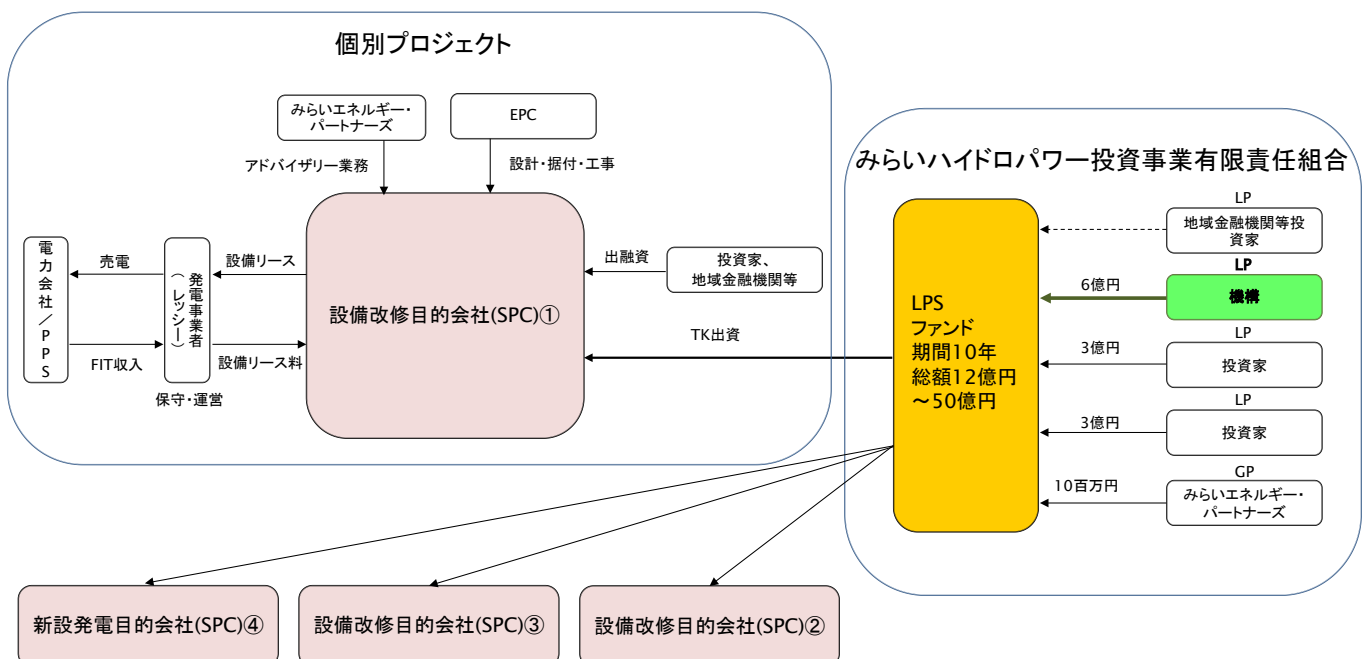
中小水力発電は建設から既に数十年を経て更新時期を迎えているものが多く、その改修工事部分に資金提供する本ファンドの取組は、既設水力発電の長寿命化により、CO2 削減効果及び雇用維持、税込確保等の地域活性化効果が見込まれます。また、発電用途に使用されていない包蔵水力※を有する自治体所有の多目的ダムや農業用水ダムが多数存在しているところ、固定価格買取制度導入後もなかなか開発が進んでいない地域の中小水力発電の事業化が期待できます。

本ファンドは、機構や投資家が有限責任組合員（以下「LP」）となり組成されますが、今後、最大 50 億円程度のファンド規模を目指し、地域金融機関等に出資を呼び掛けていきます。

機構は、安定電源としての期待が高く、地域活性化効果も見込める中小水力発電の普及・促進に資すること、機構の出資が本取組における民間資金の呼び水効果となることに鑑み、出資決定致しました。

※包蔵水力とは、国の発電水力調査により明らかになった水資源のうち、技術的・経済的に利用可能な水力エネルギー量

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本ファンドに、機構が 6 億円、投資家が合計 6 億円を LP として出資します。本ファンドの無限責任組合員（以下「GP」）のみらいエネルギー・パートナーズ(株)はファンド運営者として、最大 50 億円程度まで LP 出資者を募集します。
- ② GP は中小水力発電の改修事業及び新設事業に出資していきます。
- ③ 個別プロジェクトの改修事業においては、設備改修目的会社（以下「SPC」）に本ファンドが匿名組合出資等を行います。SPC はこれら資金を用いて、設備を改修・保有します。改修後は、SPC が設備を発電事業者リリースし、発電事業者が発電設備の運営・管理を担います。
- ④ 個別中小水力発電の新設事業においては、本ファンドが発電事業者 SPC に対して匿名組合出資等を行い、SPC が発電事業を行います。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 本ファンドは、民間や自治体所有の老朽化発電設備を対象とし、設備全面更新による小水力発電の長寿命化により、CO2 削減効果及び雇用維持、税収確保等の地域活性化効果が見込まれること。
- ② また、自治体所有の多目的ダム等を活用した新設中小水力発電事業を本ファンドの出資対象とし、これまで開発が進んでいない地域の中小水力プロジェクトの事業化が期待できること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること(本事業による CO2削減効果は 164,197t-CO2/年を想定)。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
